

# あいさつ運動の好事例

高梁市立成羽中学校

(生徒数139名 教職員数27名)

## あいさつの伝統を受け継ごう！

### アピールポイント

校門でのあいさつ運動では生徒どうしが笑顔であいさつを交わし、明るい気持ちで1週間のスタートが切れている。

地域に繰り出してのあいさつ運動では、本校の生徒だけでなく小学生や地域の方々にあいさつをすることで、地域や小学生へのアピールをすることができた。また、将来入学してくる小学生に対して、小中ギャップの解消や、「成羽中学校はあいさつをする校風なんだ」ということを知らせる機会にもなった。

### 実際の様子



### 取組の概要

#### ■児童生徒の実態

本校が受け継いできた伝統の一つが「大きな声でいつでも誰にでもあいさつをする」ということである。しかし、年々あいさつが減ったり小さくなったりしているのが実態であり、特に、よく知らない人に対してあいさつが十分できていないということが見られるようになっている。「いつでも誰にでも」ということをもう一度意識ができるようにしたい。

#### ■活動内容

毎週月曜日の校門付近でのあいさつ運動。  
毎月10日前後の3日間、校外でのあいさつ運動。

#### ■取組の参加メンバー

生徒、教職員、PTA補導部が参加。  
生活委員会が中心となって実施。

#### ■成果・効果

誰かから声をかけてもらえる安心感、誰かに声をかける期待感など、あいさつを通してコミュニケーションの輪が広がってきている。気持ちのよい習慣を伝統として受け継いでいこうという気持ちも強く感じられる。